近世道状遺構の集成（8）

近世研究プロジェクトチーム

はじめに

本プロジェクトチームでは、2015年度より近世道状遺構の集成を行っている。

県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は、伊勢原市上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）、上粕屋・〆引北遺跡（No.11）、三ノ宮・下木津根遺跡、三ノ宮・下木津根遺跡Ⅱ、下北原遺跡Ⅱ、東富岡・北三間遺跡（No.4）、坪ノ内・宮ノ前遺跡（No.16･17）を取り上げる。

凡　例

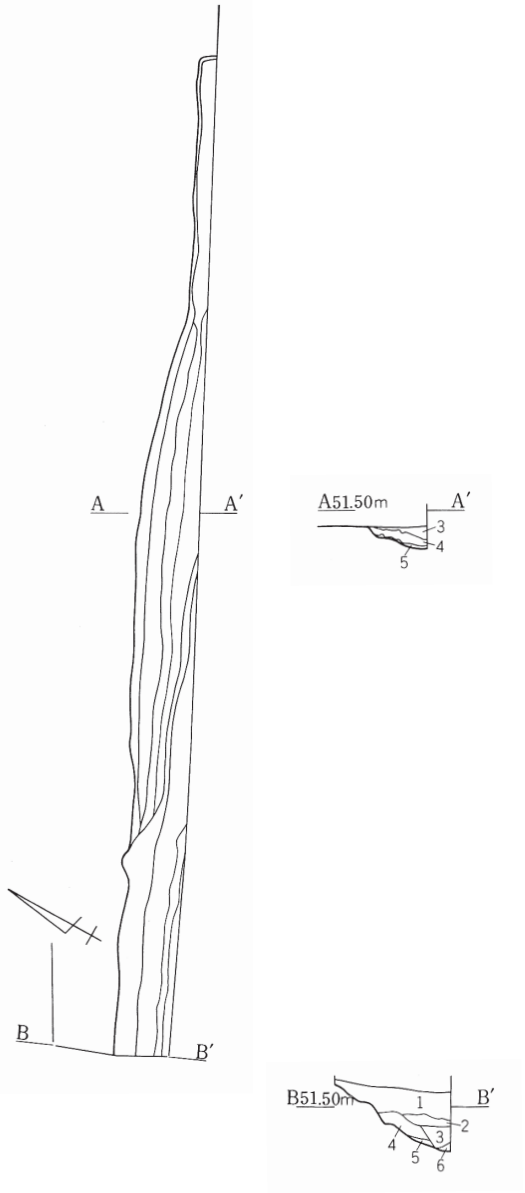
・遺構名は報告書の記載に基づく。

・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。

・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。

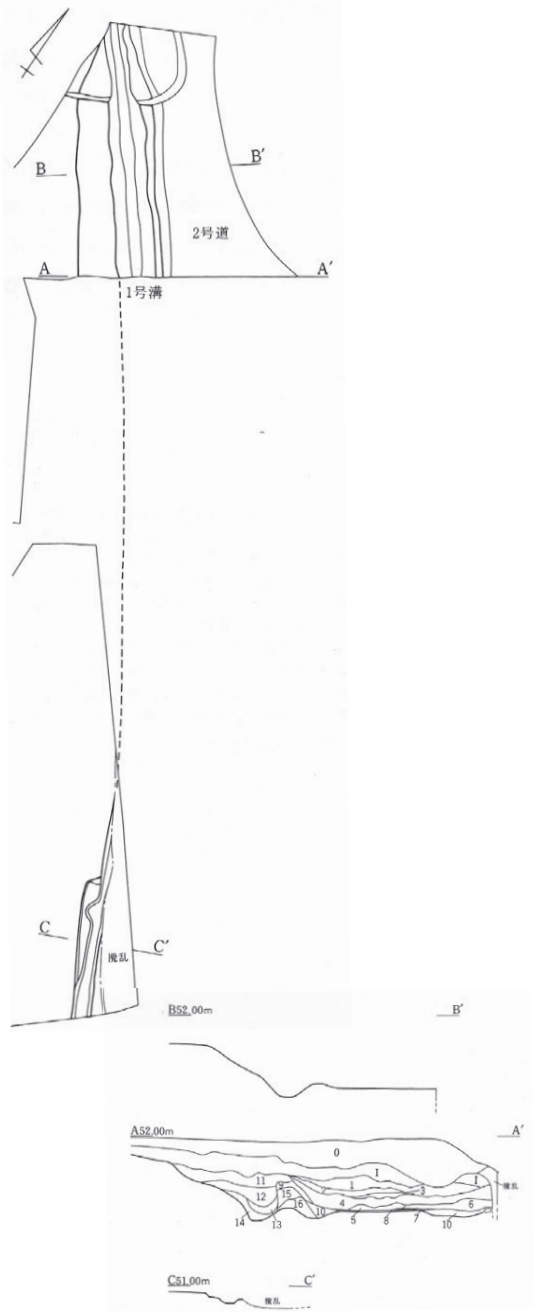
資料No.	遺跡名	遺構名	文献名
134	上粕屋・上尾崎遺跡	１号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
135	上粕屋・上尾崎遺跡	２号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
136	上粕屋・上尾崎遺跡	３号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
137	上粕屋・上尾崎遺跡	４・５号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
138	上粕屋・〆引北遺跡	１号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
139	上粕屋・〆引北遺跡	２・３号道	1999年　『上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）』　『上粕屋・〆引北遺跡（No.11）』『上粕屋・〆引西遺跡（No.12東）』かながわ考古学財団調査報告56
140	三ノ宮・下木津根遺跡	１号道状遺構	2009年　『三ノ宮・下木津根遺跡』　かながわ考古学財団調査報告245
141	三ノ宮・下木津根遺跡Ⅱ	１号道状遺構	2012年　『三ノ宮・下木津根遺跡Ⅱ』　かながわ考古学財団調査報告285
142	下北原遺跡Ⅱ	Ｋ１号道状遺構	2008年　『下北原遺跡Ⅱ』　かながわ考古学財団調査報告222
143	下北原遺跡Ⅱ	Ｋ２号道状遺構	2008年　『下北原遺跡Ⅱ』　かながわ考古学財団調査報告222
144	下北原遺跡Ⅱ	Ｋ３号道状遺構	2008年　『下北原遺跡Ⅱ』　かながわ考古学財団調査報告222
145	下北原遺跡Ⅱ	Ｋ４号道状遺構	2008年　『下北原遺跡Ⅱ』　かながわ考古学財団調査報告222
146	東富岡･北三間遺跡	１号道	1998年　『東富岡・杉戸遺跡（No.38）　東富岡・北三間遺跡（No.4）　上粕屋・川上遺跡（No.5･6）　上粕屋・三本松遺跡(No.7)　上粕屋・川上西遺跡（No.8）』かながわ考古学財団調査報告34
147	東富岡･北三間遺跡	２号道	1998年　『東富岡・杉戸遺跡（No.38）　東富岡・北三間遺跡（No.4）　上粕屋・川上遺跡（No.5･6）　上粕屋・三本松遺跡(No.7)　上粕屋・川上西遺跡（No.8）』かながわ考古学財団調査報告34
148	東富岡･北三間遺跡	３号道	1998年　『東富岡・杉戸遺跡（No.38）　東富岡・北三間遺跡（No.4）　上粕屋・川上遺跡（No.5･6）　上粕屋・三本松遺跡(No.7)　上粕屋・川上西遺跡（No.8）』かながわ考古学財団調査報告34
149	坪ノ内･宮ノ前遺跡	１・２号道	2000年　『坪ノ内･宮ノ前遺跡（No.16･17）』　かながわ考古学財団調査報告77
150	坪ノ内･宮ノ前遺跡	１号道	2000年　『坪ノ内･宮ノ前遺跡（No.16･17）』　かながわ考古学財団調査報告77

資料No.	134	遺跡名	上粕屋・上尾崎遺跡(No.10)
所在地	伊勢原市上粕屋字上尾崎		
遺構名	１号道		
道　幅	最大1.0m		
年　代	宝永以前		
備　考	検出長約42.0m。溝底幅0.54m。最深0.4m。西側の溝底より宝永スコリアの堆積を確認。		



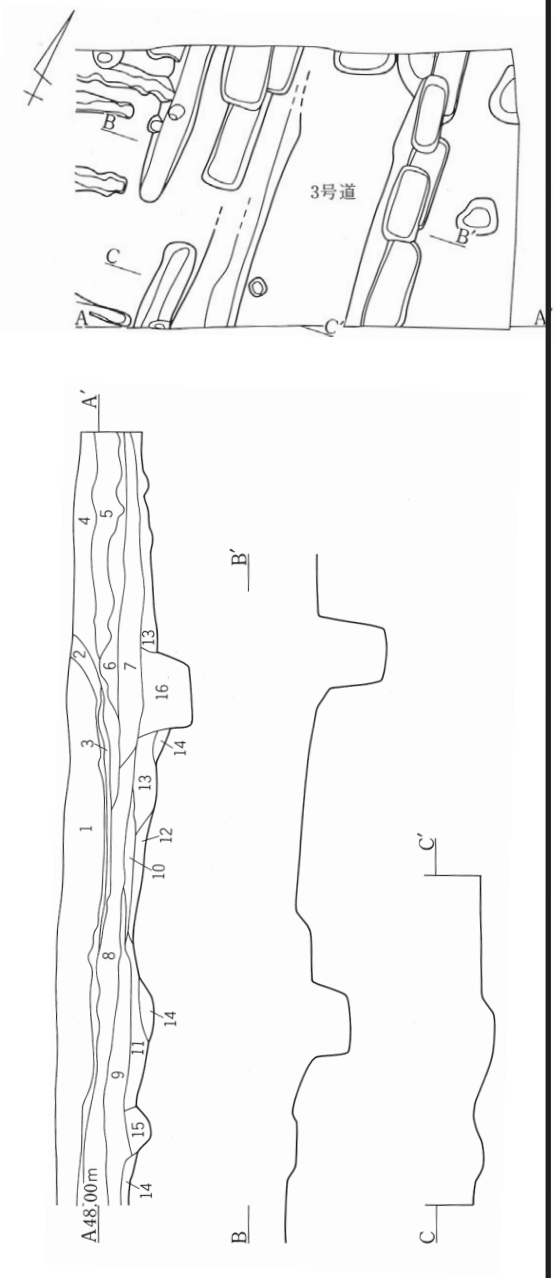
縮　尺	（平面図） 1/120　（断面図） 1/120

資料No.	135	遺跡名	上粕屋・上尾崎遺跡(No.10)
所在地	伊勢原市上粕屋字上尾崎		
遺　名	２号道		
道　幅	約1.3m（最下部硬化面）		
年　代	宝永以前		
備　考	検出長約5.0m。４～５面の硬化面。両側に側溝があり、これを含めた幅は約5.3m程。		



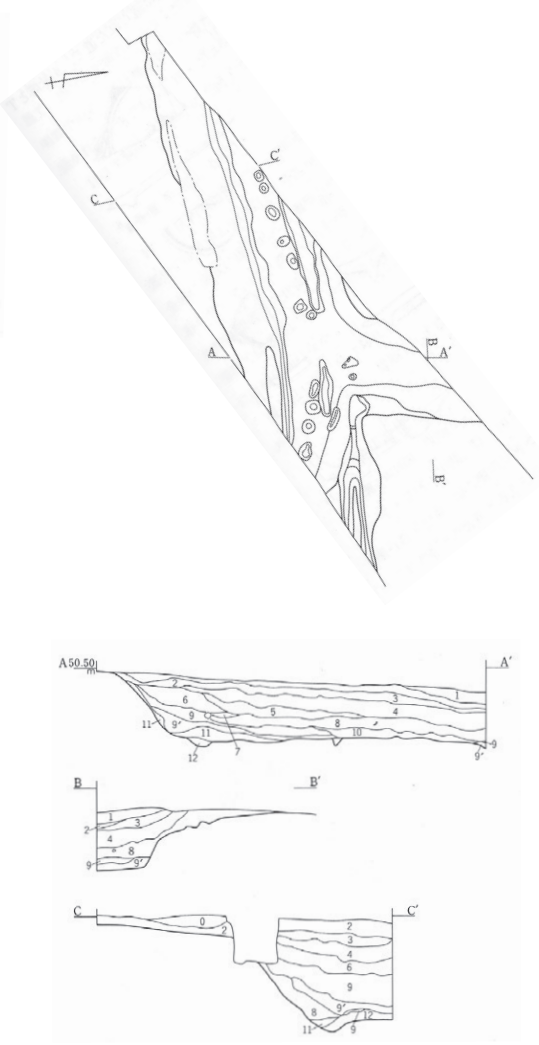
縮　尺	（平面図） 1/150　（断面図） 1/100

資料No.	136	遺跡名	上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）
所在地	伊勢原市上粕屋字上尾崎		
遺構名	３号道		
道　幅	約1.7m（硬化面）		
年　代	近世後半以降		
備　考	検出長44.0m。		



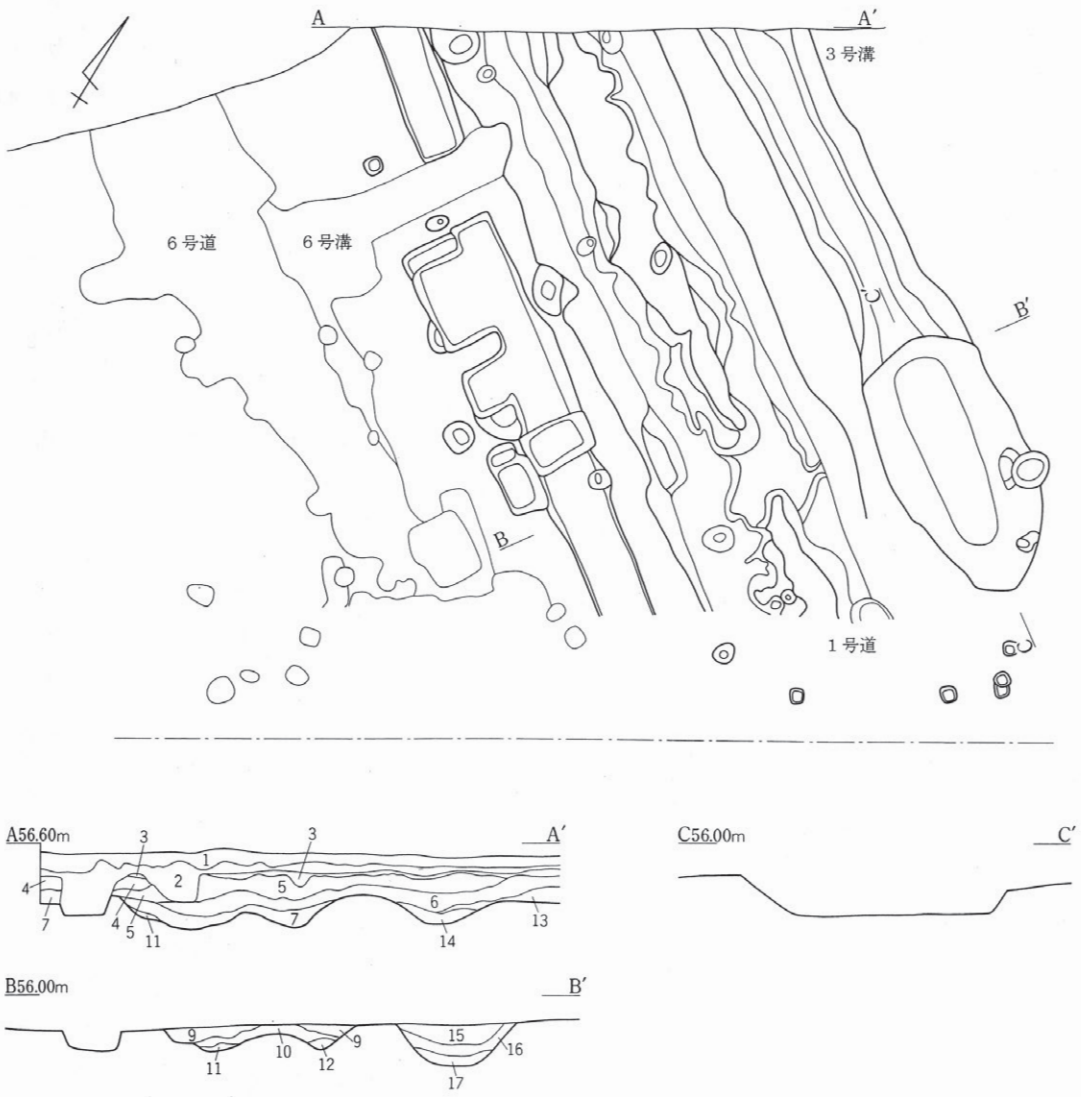
縮　尺	（平面図）1/120　（断面図）1/60

資料No.	137	遺跡名	上粕屋・上尾崎遺跡（No.10）
所在地	伊勢原市上粕屋字上尾崎		
遺構名	４・５号道		
道　幅	（４号道）約3.4m、（５号道）約2.6m		
年　代	宝永以前		
備　考	（４号道）検出長約9.0m、底部幅1.6～1.9m。 （５号道）検出長約3.5m、底部幅0.6～1.3m。		



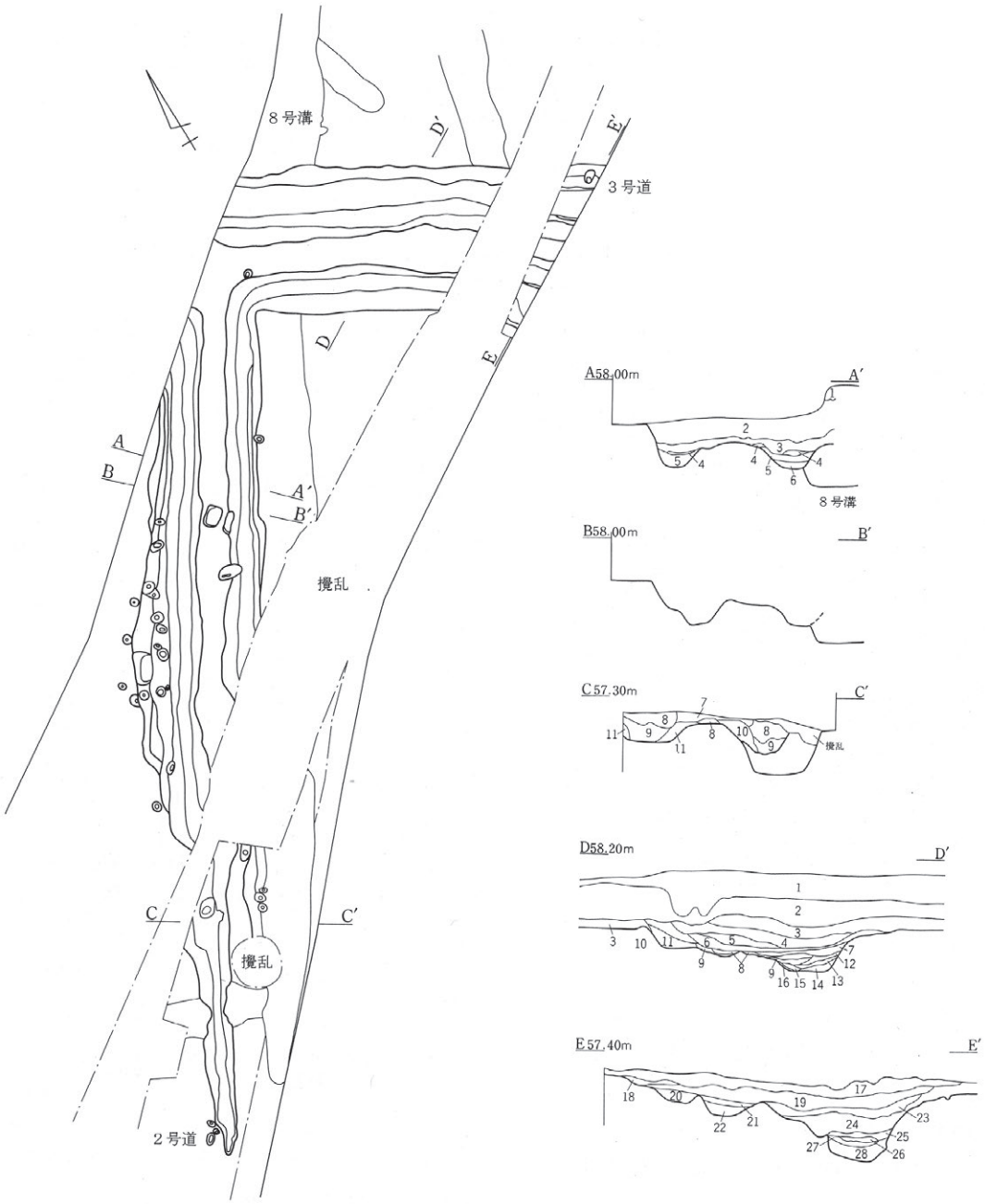
縮　尺	（平面図）1/200　（断面図）1/100

資料No.	138	遺跡名	上粕屋・〆引北遺跡（No. 11）
所在地	伊勢原市上粕屋字北〆引		
遺構名	１号道		
道 幅	2.9～3.15m		
年 代	宝永以前		
備 考	検出長約10.0m。北西端から約２mのところで６号溝に切られる。中央部分に幅0.4～0.9mの硬化面があり、北から約７mで途切れる。硬化面の両側に側溝を確認。北西～南東方向へ約10cm下がる。		



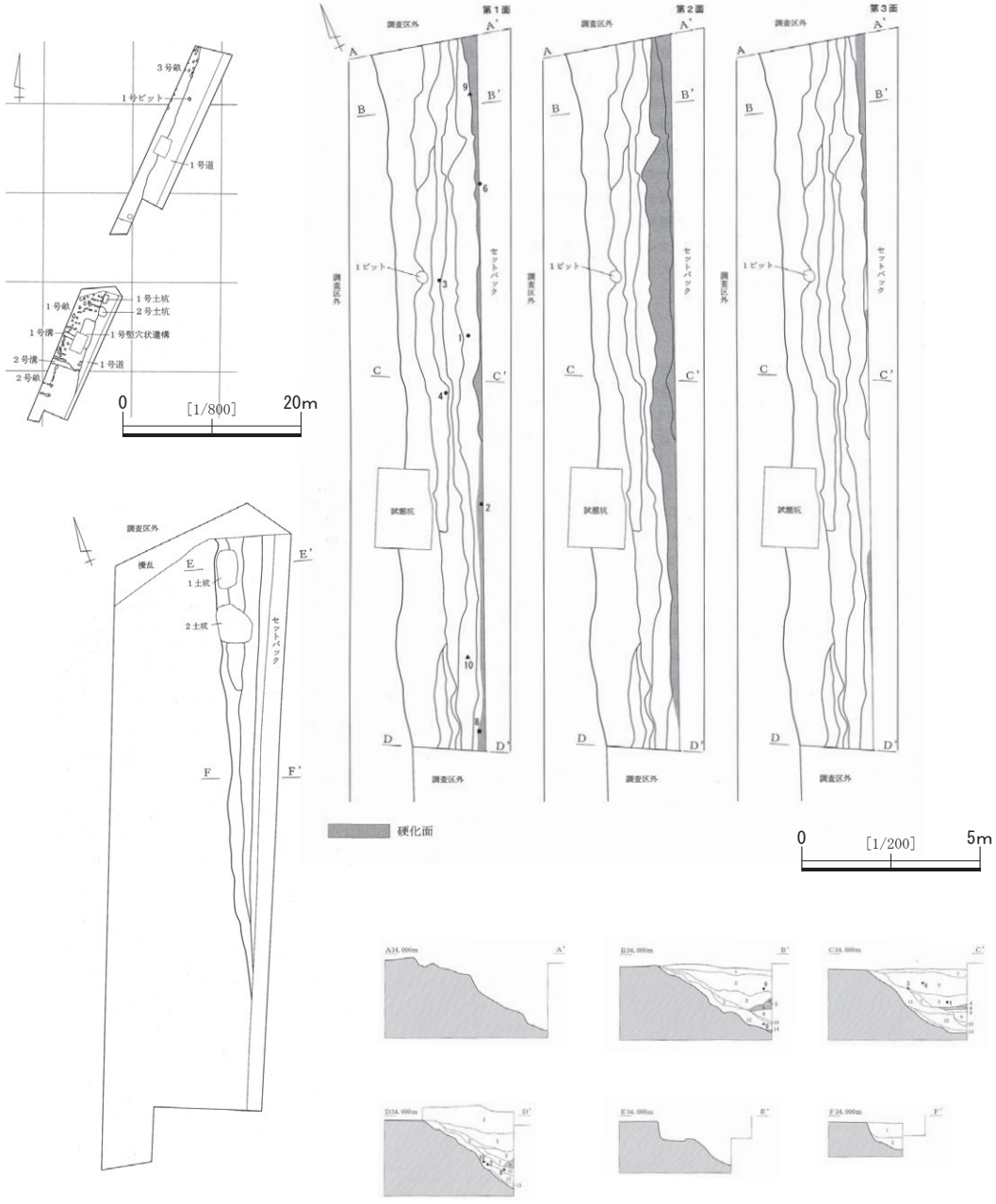
縮 尺	（平面図）1/120　（断面図 ） 1/120

資料No.	139	遺跡名	上粕屋・〆引北遺跡（No. 11）
所在地	伊勢原市上粕屋字北〆引		
遺構名	２・３号道		
道　幅	（２号道）3.2～4.4m、（３号道）4.8～5.4m		
年　代	近世後半～幕末		
備　考	（２号道）検出長31.0m。中央部分に幅約0.78～1.4mの硬化面を確認。 （３号道）検出長12.7m。中央部分に幅約1.04～1.64mの硬化面を確認。		



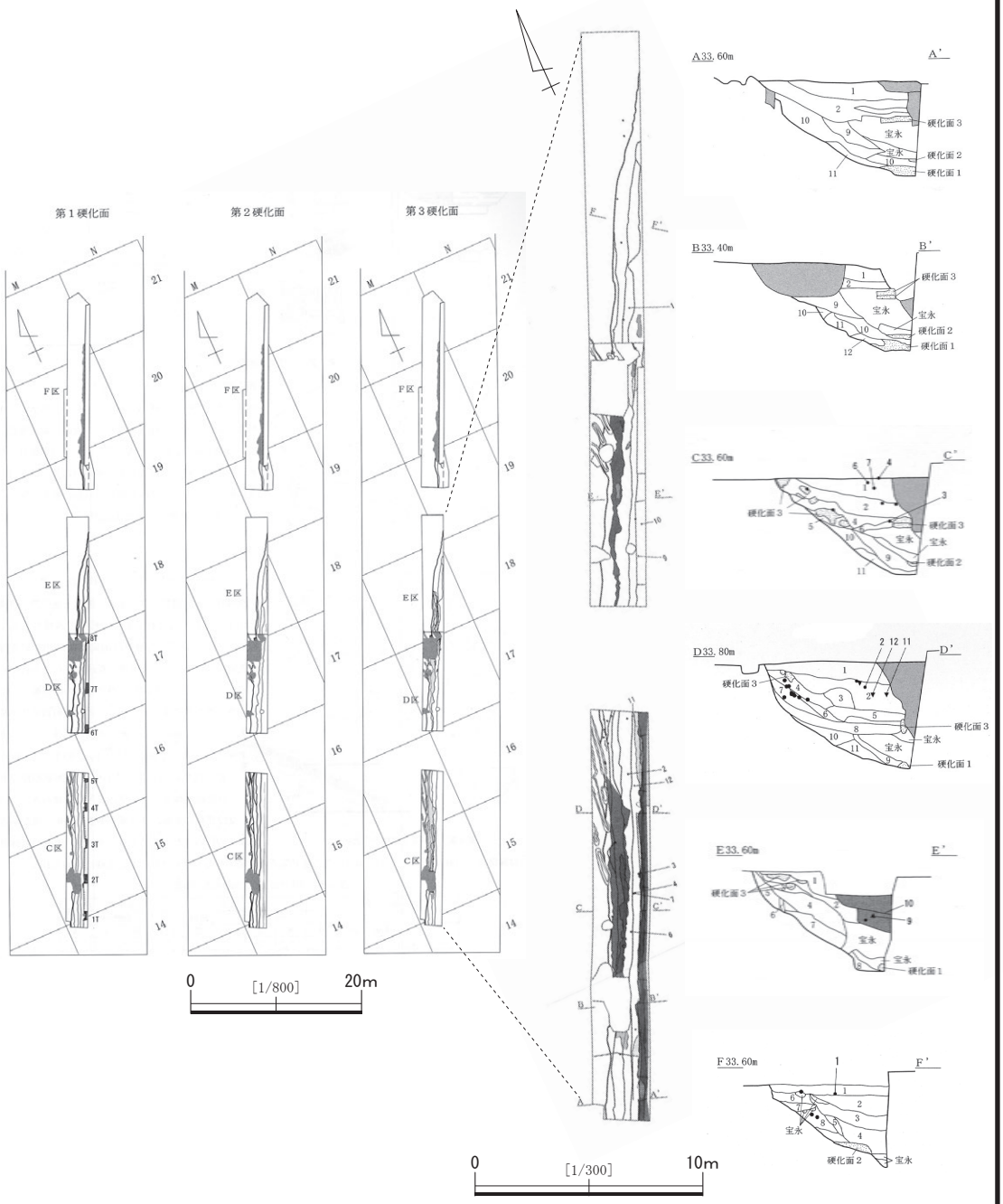
縮　尺	（平面図）1/250　（断面図）1/150

資料No.	140	遺跡名	三ノ宮・下木津根遺跡
所在地	伊勢原市三ノ宮字下木津根		
遺構名	１号道状遺構		
道　幅	（1.60～2.85m）		
年　代	近世		
備　考	検出総延長41.8m、調査区東側のほぼ現道直に沿って位置。（西側の掘り込み部分が検出）確認面から0.68mで３面の硬化面を持ち、硬化面の厚さは７～20cm。硬化面２の下部から宝永の火山灰の１次堆積が確認。		



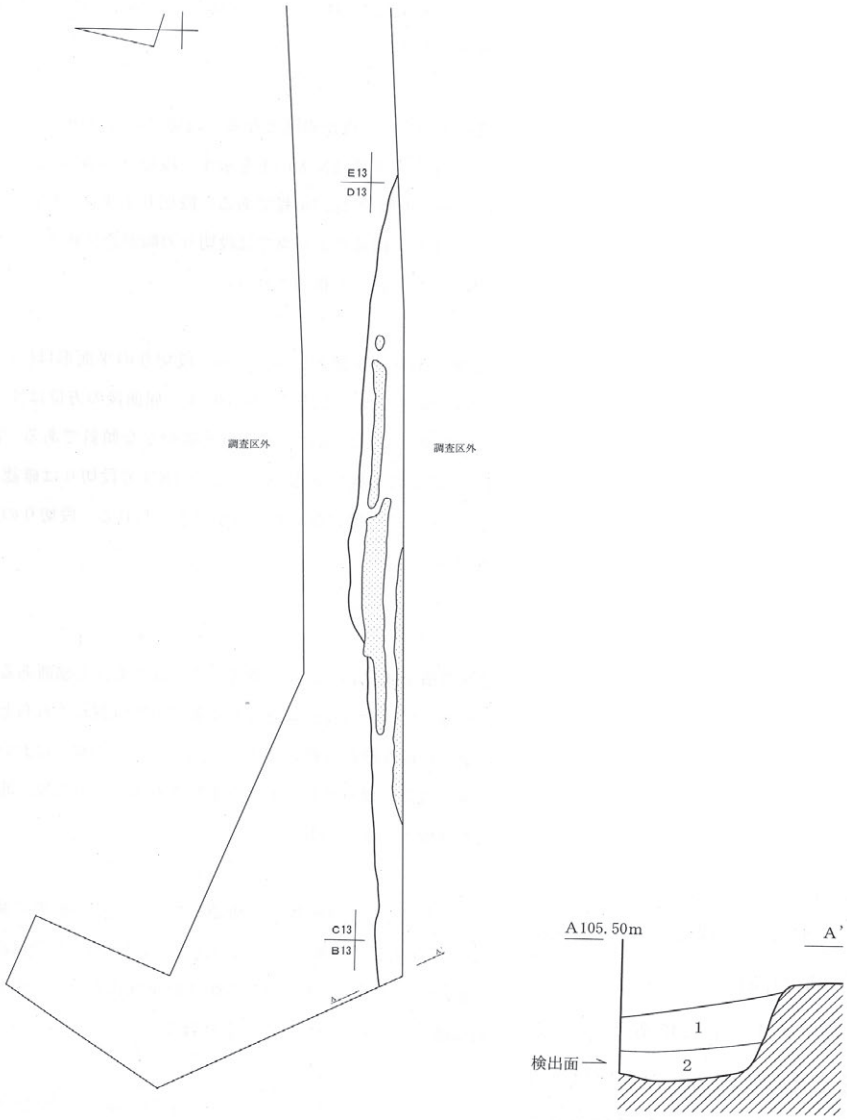
縮　尺	（平面図） 1/800･1/200　（断面図） 1/150

資料No.	141	遺跡名	三ノ宮・下木津根遺跡Ⅱ
所在地	伊勢原市三ノ宮字下木津根		
遺構名	１号道状遺構		
道　幅	（1.60～2.25m）		
年　代	近世		
備　考	検出総延長46.0m、１次調査の続き（併せ100m）。調査区東側のほぼ現道直に沿って位置。（西側の掘り込み部分が検出）３面の硬化面を持ち、硬化面の厚さは５～15cm。硬化面２の直上から宝永の火山灰の堆積が確認。		



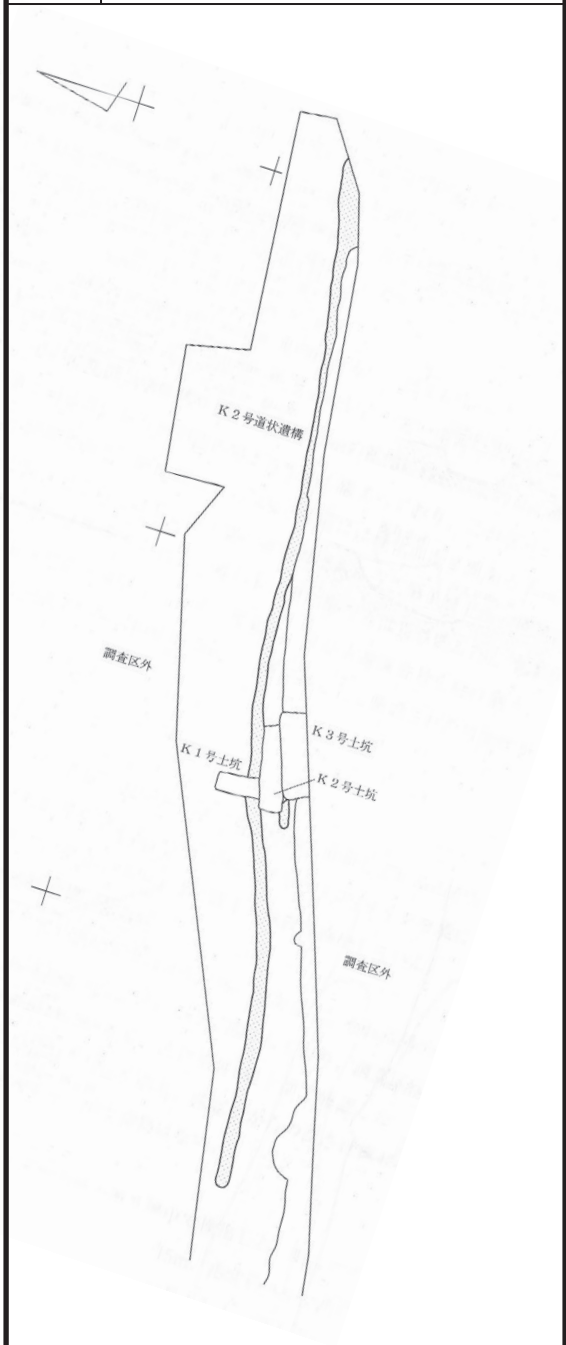
縮　尺	（平面図）1/800･1/300　（断面図）1/100

資料No.	142	遺跡名	下北原遺跡Ⅱ
所在地	伊勢原市日向字下北原		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道　幅	最大約1.4m		
年　代	近世		
備　考	検出長約21.0m。東西約14.0m、南北約1.0mの範囲内に、幅0.2～0.5mの帯状にのびる硬化面を検出。		



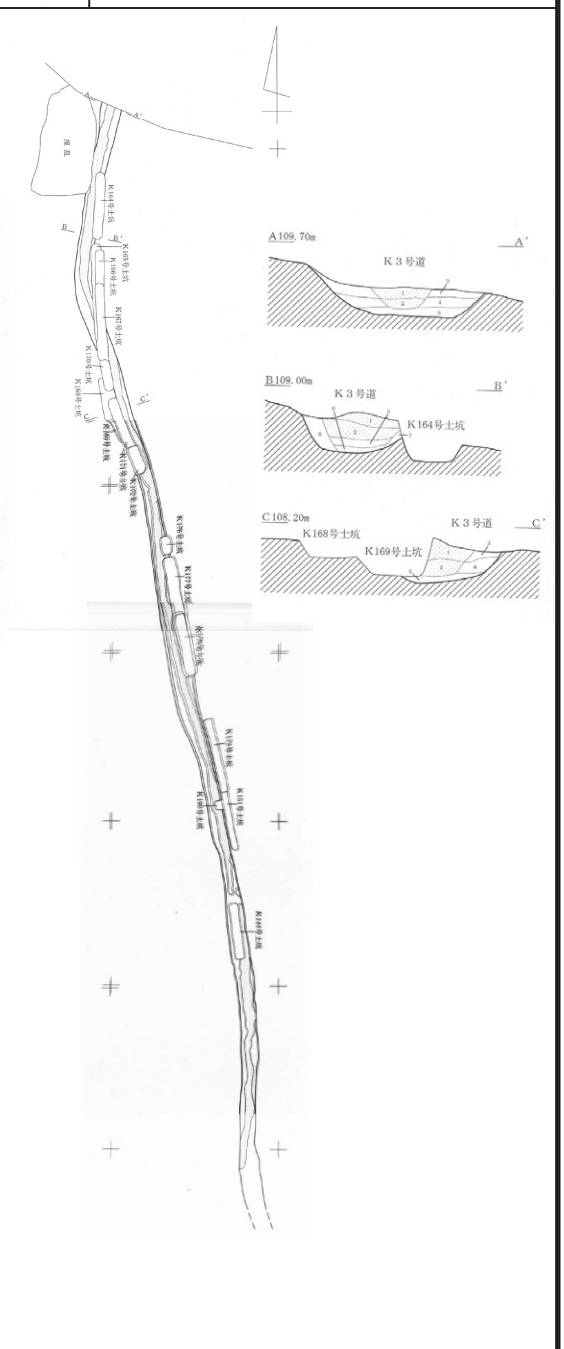
縮　尺	（平面図） 1/200　（断面図） 1/40

資料No.	143	遺跡名	下北原遺跡Ⅱ
所在地	伊勢原市日向字下北原		
遺構名	Ｋ２号道状遺構		
道　幅	0.4m		
年　代	近世		
備　考	検出長は直線距離で約27.0m。		



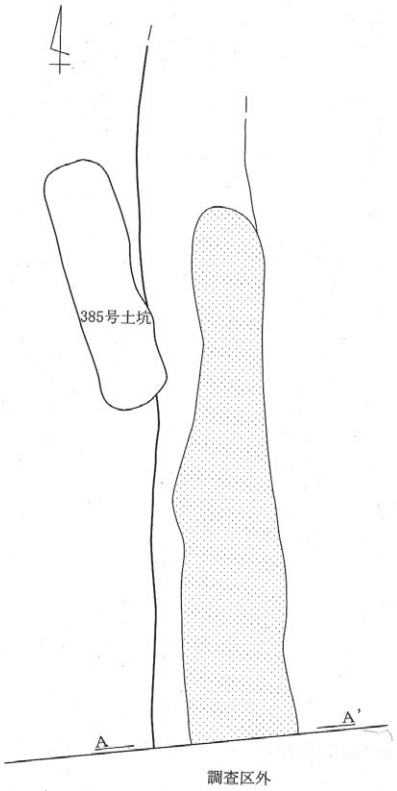
縮　尺	（平面図） 1/200

資料No.	144	遺跡名	下北原遺跡Ⅱ
所在地	伊勢原市日向字下北原		
遺構名	Ｋ３号道状遺構		
道　幅	0.15～0.7m		
年　代	近世		
備　考	検出長は直線距離で約66.0m。北から南へ約1.5m低くなる。		



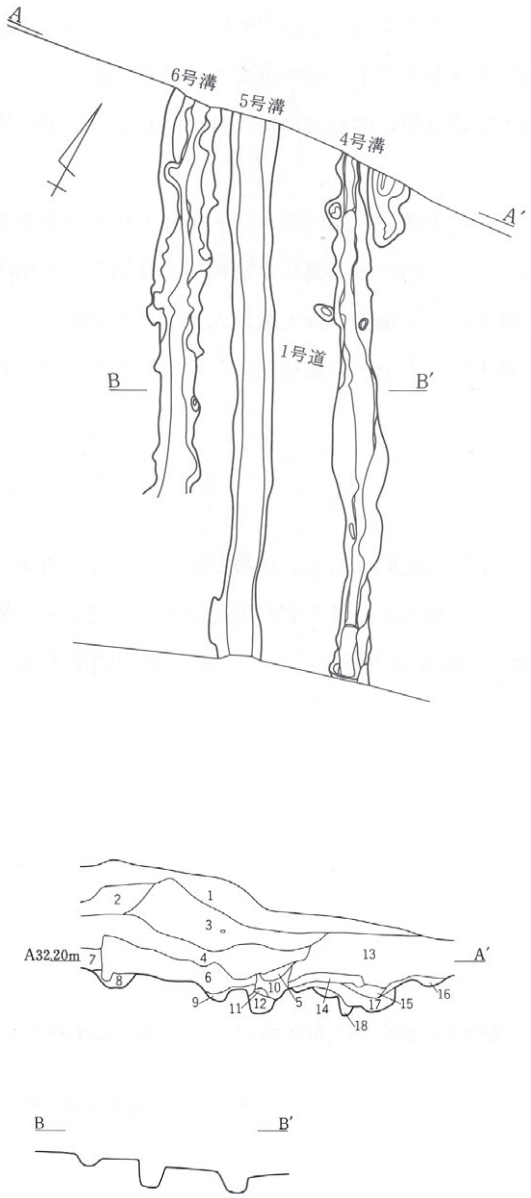
縮　尺	（平面図） 1/450　（断面図） 1/60

資料No.	145	遺跡名	下北原遺跡Ⅱ
所在地	伊勢原市日向字下北原		
遺構名	Ｋ４号道状遺構		
道　幅	0.5m		
年　代	近世		
備　考	検出長3.7m。硬化面が南北約3.0m、東西0.6mの範囲で検出。第１層並びに第２層が最も強く締まり、層厚0.1m。		



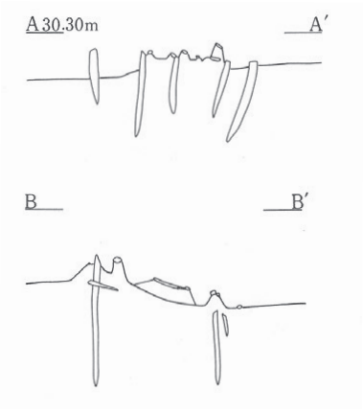
縮　尺	（平面図） 1/40　（断面図） 1/40

資料No.	146	遺跡名	東富岡・北三間遺跡（No. ４）
所在地	伊勢原市東富岡字北三間		
遺構名	１号道		
道　幅	1.0～1.4m		
年　代	宝永以前		
備　考	検出長約8.5m。両脇に側溝を検出。		



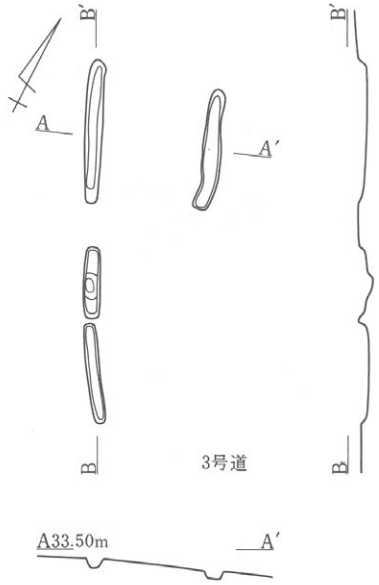
縮　尺	（平面図） 1/120　（断面図） 1/150

資料No.	147	遺跡名	東富岡･北三間遺跡（No. ４）
所在地	伊勢原市東富岡字北三間		
遺構名	２号道		
道 幅	7.4m		
年 代	近世		
備 考	長さ7.4m、幅1.5～1.8mの範囲に竹や木杭を打ち込み、上面に規則性無く並べられた横木や石を検出。		



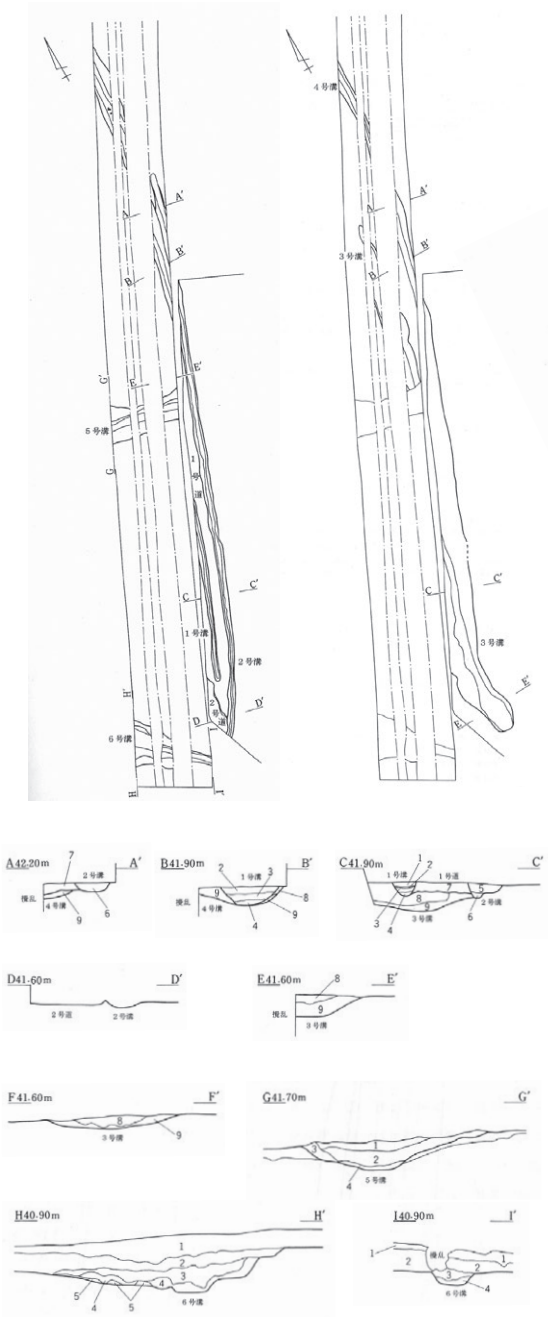
縮 尺	（平面図） 1/150 （断面図） 1/80

資料No.	148	遺跡名	東富岡･北三間遺跡（No. ４）
所在地	伊勢原市東富岡字北三間		
遺構名	３号道		
道 幅	1.6～1.7m		
年 代	近世		
備 考	検出長5.9m。両脇に長さ1.16～2.15m、幅1.16～2.15m、深さ３～15cmの溝があり、その間が硬化面をなしている。		



縮 尺	（平面図） 1/120 （断面図） 1/120

資料No.	149	遺跡名	坪ノ内･宮ノ前遺跡（No.16）
所在地	伊勢原市坪ノ内字宮ノ前		
遺構名	１・２号道		
道　幅	（１号道）0.6～0.8m、（２号道）0.8～1.0m		
年　代	宝永以前		
備　考	（１号道）検出長25.0～26.0m。 （２号道）検出長3.8m。１号道の南側。		



縮　尺	（平面図）1/500　（断面図）1/100

資料No.	150	遺跡名	坪ノ内･宮ノ前遺跡（No.17）
所在地	伊勢原市坪ノ内字宮ノ前		
遺構名	１号道		
道　幅	0.6～1.54m		
年　代	近世		
備　考	検出長10.56m。北西から南西へ下がり、レベル差は約0.5m。		

縮　尺	（平面図）1/200　（断面図）1/120